

令和7年度 津南中学校 後期学校評価 集計結果と改善に向けた今後の方策

Ⅲ期末に保護者の皆様からアンケートにご協力いただきました。ありがとうございました。

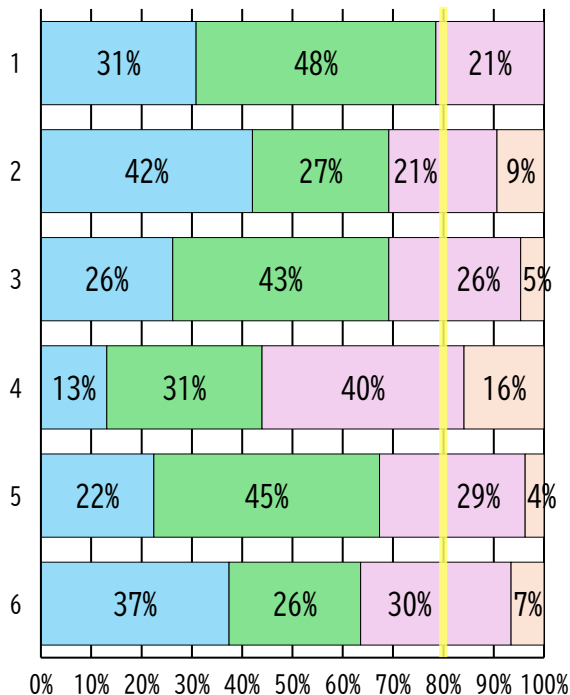
「知育」「体育」「徳育」「管理」の4つの観点から評価・検討を行いました。アンケートの集計結果と改善に向けた今後の方策について、紙面にてご報告いたします。

1 【知育】に関すること

■ 当てはまる
 ■ どちらかという当てはまる
 ■ どちらかという当てはまらない
 ■ 当てはまらない

(1) 生徒アンケート

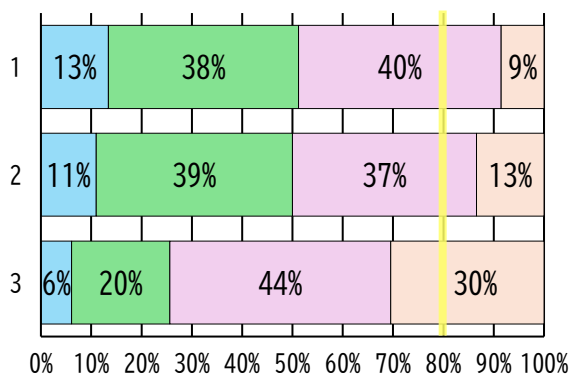
①	授業では、学習課題に、自分から進んで粘り強く取り組もうとしていますか。
②	授業（クラスやグループ活動）では、自分の考えや思いを1日1回は発言していますか。
③	「しなのがわタイム」や「生活ノート」を活用し、家庭学習の計画を立てていますか。
④	毎日、学年目標（1年生70分、2年生80分、3年生90分）の家庭学習時間（自主学習や宿題など）に取り組んでいますか。
⑤	各教科の評価テストに向けて計画的に学習し、テスト後は結果を振り返り、次に生かしていますか。
⑥	将来に向けて、夢や目標をもって学習や諸活動に取り組んでいますか。



前期	結果	4	3	2	1
23%	55%	20%	2%		
29%	32%	29%	11%		
36%	30%	27%	8%		
13%	28%	42%	17%		
34%	34%	29%	4%		
35%	36%	22%	8%		

(2) 保護者アンケート

①	お子さんは、将来に向けて夢や目標をもって生活していますか。
②	お子さんは、学習に粘り強く取り組んでいると思いますか。
③	お子さんは、毎日、学年目標（1年生70分、2年生80分、3年生90分）の家庭学習（自主学習や宿題など）に取り組んでいますか。



前期	結果	4	3	2	1
18%	31%	35%	16%		
15%	31%	34%	20%		
6%	25%	36%	33%		

<今後の方策>

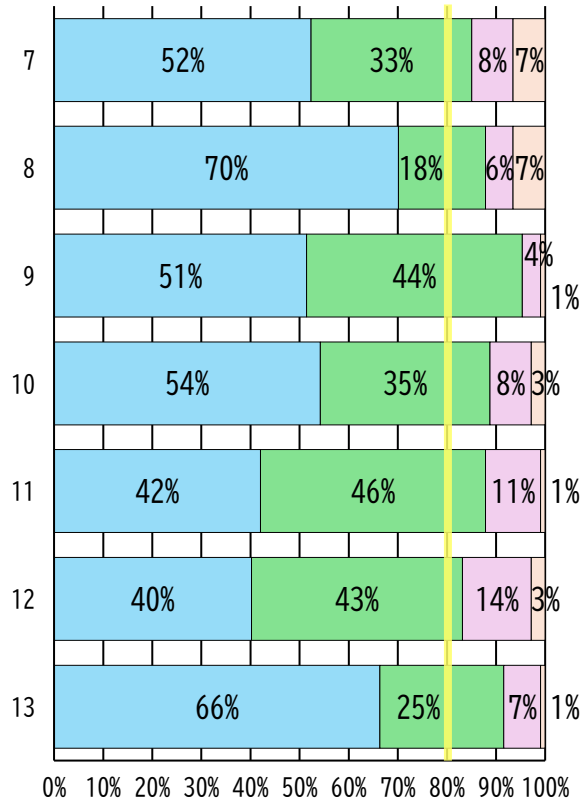
- 授業では、ペアやグループから学級全体へと発言の場を段階的に設定したり、進行や記録などの役割分担、発言の順番や持ち時間などを確認したりすることで、話し合い活動の指導と支援を継続していきます。
- 具其他的な進路目標（進学がゴールではなく、社会的自立をゴールとする目標）設定ができるよう、1、2年生への進学（入試）に関する具体的な情報提供、総合的な学習の時間での職業学習・キャリア教育を推進していきます。
- 家庭学習を“自分たちの取組”として意識できるよう、「しなのがわタイム」と「生活ノート」の活用を、学級の係活動と連携していきます。
 - 評価テストの範囲表を黒板に提示し、日時と範囲を確認する。（学習係）
 - 家庭学習の計画の記入だけでなく、取組結果の振り返り（○△×）まで促す。（集配係）
- 毎日の学習時間、メディア時間の記録を蓄積し、家庭での時間の使い方について数値に基づく評価と改善ができるように支援していきます。

2 【徳育】に関すること

■ 当てはまる
 ■ どちらかという当てはまる
 ■ どちらかという当てはまらない
 ■ 当てはまらない

(1) 生徒アンケート

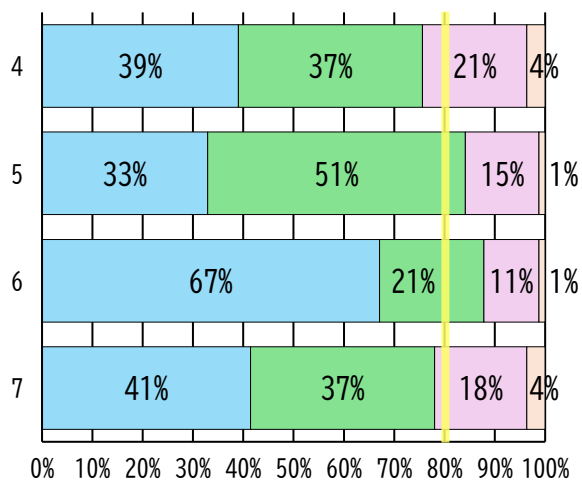
⑦	学校生活は楽しいですか。
⑧	学校生活では、嫌なことを言われたりされたりすることなく、安心して過ごしていますか。
⑨	相手を思いやる言動ができていますか。
⑩	学校行事や生徒会活動に対して、仲間と協力しながら目標達成できるように粘り強く努力していますか。
⑪	「しなのがわ」精神を意識して学校生活を過ごすことができましたか。
⑫	自分からすすんで、相手に聞こえるあいさつをしていますか。
⑬	係活動や生徒会活動、清掃や給食当番などの自分の役割は、責任をもって行っていますか。



前期	結果	4	3	2	1
48%	32%	14%	6%		
60%	24%	10%	7%		
47%	42%	10%	1%		
45%	37%	14%	4%		
37%	48%	14%	1%		
47%	38%	12%	4%		
57%	34%	7%	3%		

(2) 保護者アンケート

④	お子さんは、学校生活を楽しんでますか。
⑤	お子さんは、相手を思いやる言動ができていますか。
⑥	お子さんは、嫌なことを言われたりされたりしていませんか。
⑦	お子さんは、家庭や地域であいさつをしていますか。



前期	結果	4	3	2	1
42%	36%	19%	2%		
34%	48%	14%	4%		
60%	24%	13%	4%		
34%	39%	24%	4%		

<今後の方策>

- 新生徒会役員、2年生リーダー育成の機会を生かし、各場面で挨拶の意義を改めて生徒に伝えていくとともに、具体的な行動（先手挨拶）を生徒と一緒に実践していきます。また、次年度も毎月10日の「あいさつの日」の取組を継続し、長期的に指導していきます。
- 「しなのがわ運動」については、朝学活で日直が「しなのがわ」の各項目から1つを選んで目標を設定し、終学活で取組を評価していきます。教育期や各行事の個人目標に対する取組だけでなく、学級として「目標設定→実践→評価」のサイクルを繰り返すことで、集団への所属感や「利他の心」がより高まるように努めていきます。

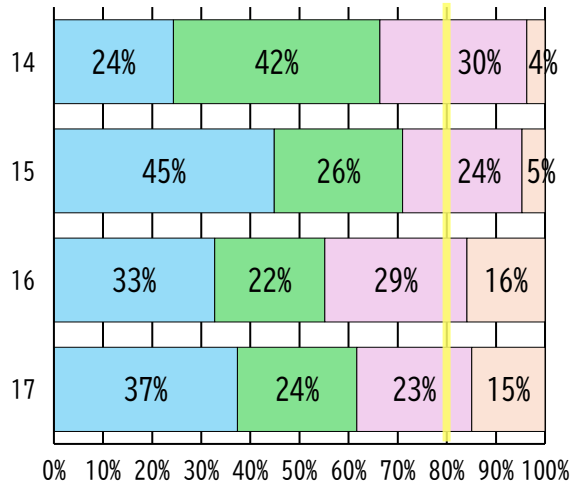


3 【体育】に関すること

■ 当てはまる
 ■ どちらかという当てはまる
 ■ どちらかという当てはまらない
 ■ 当てはまらない

(1) 生徒アンケート

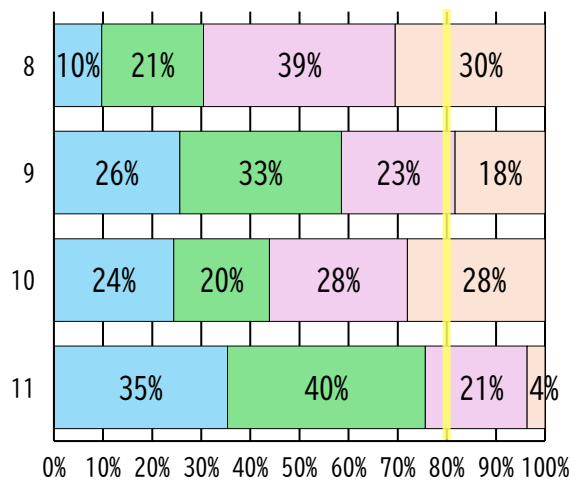
⑭	健康や睡眠、学習の妨げにならないように、メディア使用を自分で制限できていますか。
⑮	体育の授業や部活動を通じて、前期と比べて「体力が向上した」と思いますか。
⑯	夜11時までの就寝、朝6時半までの起床ができていますか。
⑰	主食、主菜、副菜のそろった朝食を食べていますか。



前期	結果	4	3	2	1
24%	36%	31%	10%		
52%	20%	18%	10%		
41%	20%	21%	17%		
32%	30%	25%	13%		

(2) 保護者アンケート

⑧	お子さんは、自分または家庭で決めたメディア使用のルールを守れていますか。
⑨	お子さんは、体力向上に努めていると思いますか。
⑩	お子さんは、夜11時までに就寝、朝6時半までに起床ができていますか。
⑪	お子さんは、栄養バランスのとれた食事をとっていますか。



前期	結果	4	3	2	1
8%	20%	41%	31%		
40%	27%	22%	11%		
33%	20%	19%	28%		
29%	45%	20%	6%		

<今後の方策>

- 入学説明会で、新1年生保護者に向けて、養護教諭からメディアの使用について話す場を設けます。津南中生徒のメディア使用の実態、学力とメディアの関係について中学校入学前に伝えることで、機器を持たせる場合の注意点、ルールの必要性について早い段階から保護者と連携できるようにします。
- 次年度も毎月19日(育の日)に、「学習中にメディアに触らない」「おうちの人と一緒にメディアの時間をコントロールする」ことを呼び掛けていきます。また、THC週間とは別に、日常のメディアの使い方について実態把握を行います。毎日の学習時間とメディア時間の記録を蓄積し、生徒本人と保護者が客観的に現状を捉え、家庭での時間の使い方の評価と改善ができるように支援していきます。
- 体育授業では、前向きに取り組む生徒が多く、授業者は体力の向上を感じています。「一人では苦しいことも仲間と協力して前向きに取り組む姿勢が体力向上につながっている」「体育や部活動を休まず続けていることは体力が向上している証」と認識できるよう、課題や声掛けを工夫して指導していきます。

津南町の目標

早寝・早起き

- 夜11時までに布団に入る
- 朝6時半までに起きる

朝ご飯

主食・主菜・副菜のバランスのとれた朝食を食べる

スマホ・タブレット・ゲームなど

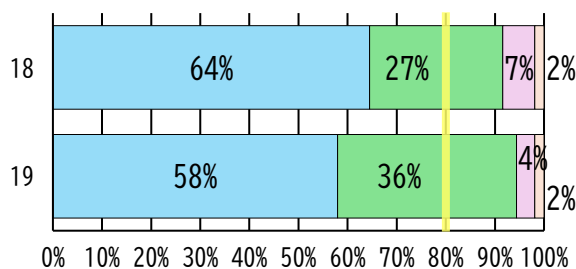
- 学習の妨げになる使用はしない
- 夜__時以降使用しない(自分で決める)

4 【管理】に関すること

■ 当てはまる
 ■ どちらかという当てはまる
 ■ どちらかという当てはまらない
 ■ 当てはまらない

(1) 生徒アンケート

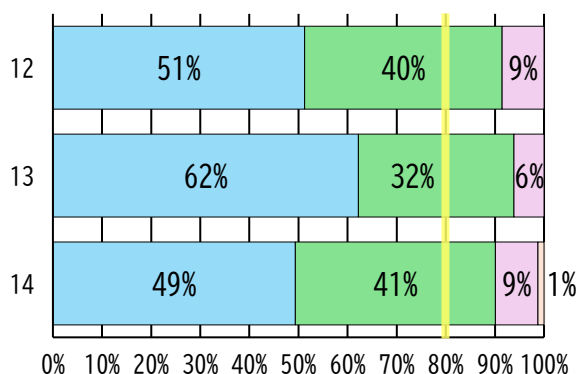
⑱	学校は安全・安心な教育環境となっていますか。
⑲	学校で使用する物品は充実していますか。



前期	結果
4	3
61%	26%
10%	4%
59%	33%
6%	3%

(2) 保護者アンケート

⑫	学校は、安全・安心な教育環境になっていると思いますか。
⑬	学校は、各種たより（学校、学年、保健、給食）や Home&School、学校ホームページ等で情報発信に努めていますか。
⑭	学校は、保護者負担軽減を考慮し、効果的な予算の活用に努めていますか。



前期	結果
4	3
44%	48%
7%	1%
61%	31%
7%	1%
39%	49%
9%	2%

<今後の方策>（保護者自由記述より一部抜粋）

(1) 全ての項目が90%以上の数値でした。引き続き「保護者負担を軽減できることはないか」という視点をもって、教育環境の整備、日々の教育活動に努めていきます。

(2) 「感染症の人数の報告がなく不安になる」というご意見をいただきました。

インフルエンザ等の感染症については、保健だよりで流行期の注意喚起を行っています。また、近隣校で流行していても、津南中では罹患者がいらない場合もあります。特段の連絡がない場合は、「津南中では流行がない」とご理解ください。欠席の増加が確認された場合には、その時点でH&Sで連絡いたします。お仕事等ですぐに確認できない方もいらっしゃることは存じ上げますが、現体制で一番早く全体に連絡できる方法ですので、ご理解いただきたいと思います。

(3) 「部活動の予定が出るのが遅く予定を立てにくいことがある」「保護者宛の連絡が遅い」というご意見をいただきました。

部活動の毎月の活動予定が変更になる場合は、変更が分かり次第顧問から伝えることになっています。特に、練習試合や練習会等で保護者による送迎が必要になる場合は、確実に伝わるよう気を付けていきます。なお、部活動は課外活動ですので、急な変更に限らず、都合がつかない場合には家庭の予定を優先していただき、その旨を顧問にお伝えください。部活動以外での予定変更（生徒下校時刻の変更など）についても同様に、変更が決まり次第連絡します。なお、前日の生徒下校までには生徒に変更が伝わるように努めますが、事故や感染症対応など、どうしても急な連絡になる場合もあることをご理解いただきたいと思います。

(4) 「夏の熱中症や秋の熊遭遇の危険回避から、希望者の自転車通学を検討してほしい」「熊遭遇や積雪で危険箇所が増えることを鑑みて、後期はバス通学を許可してほしい」という、通学方法に関するご意見をいただきました。

徒歩通学生に限らず、バス通学生でも自宅からバス停まで距離が長い生徒もおり、熱中症や熊遭遇、積雪による危険性はどの生徒もゼロではありません。バス通学生の拡大には定期券の追加発行が必要となり、町の予算との兼ね合いから学校だけでは決定できない内容です。徒歩通学の範囲は、一般的な中学生の体力で徒歩通学が可能な範囲で指定していますので、ネッククーラーなどの熱中症対策、熊鈴などの熊対策をしたうえで徒歩での登下校をお願いします。

以上の学校評価をもとに、これからの教育活動に取り組んでいきます。今後とも、当校の学校運営にご理解とご協力をお願いいたします。



津南町立津南中学校

〒949-8201 津南町大字下船渡丁 1666 番地

【TEL】025-765-2227 【FAX】025-765-3342

【Mail】tsunan.tsunan-jhs@edu-niigata.ed.jp